

事務事業名		猪川保育園線道路改良事業		☒ 実施計画掲載事業 ☒ 合併建設計画掲載事業																									
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間 ☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度～) ☒ 期間限定複数年度 【計画期間】 平成27 年度 ～ 平成28 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																									
	施策名	良好な生活空間の創造																											
	基本事業名	生活道路の整備																											
根拠法令				予算科目 会計 款 項 目 事業 01 08 02 03 37																									
所属	部課名	都市整備部建設課																											
	課長名	菅原博幸																											
	係 名	土木係	電話 0192-27-3111																										
	担当者	樺嶋照人	内線 313																										
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 本路線は、猪川町轆轤石地内において、主要地方道大船渡綾里三陸線から猪川保育園を結ぶその他市道である。計画区間は猪川小学校、猪川保育園に通う児童の通学路となっているが、現況幅員が狭く、勾配が急なことから通学、通園において危険な状態である。このような状況から現道の拡幅、歩道の整備、急勾配の解消を行い、児童、園児の安全確保のための道路改良を行う。 本路線の整備は、延長L=260m幅員W=5mとする。																													
全体計画(※期間限定複数年度のみ) <table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="5">事業費</td> <td>国庫支出金</td> <td>77,970</td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>49,180</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>2,900</td> </tr> <tr> <td>事業費計 (A)</td> <td>130,050</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>人件費計 (B)</td> <td>3,200</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>133,250</td> </tr> </table>						総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	77,970	都道府県支出金		地方債	49,180	その他		一般財源	2,900	事業費計 (A)	130,050	人件費	正規職員従事人数	4	延べ業務時間	800	人件費計 (B)	3,200	トータルコスト(A)+(B)		133,250
総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	77,970																										
		都道府県支出金																											
		地方債	49,180																										
		その他																											
		一般財源	2,900																										
	事業費計 (A)	130,050																											
	人件費	正規職員従事人数	4																										
延べ業務時間		800																											
人件費計 (B)		3,200																											
トータルコスト(A)+(B)		133,250																											
【計画期間】 ・測量調査設計(一式) 平成27年度 ・用地測量(L=260m) 平成28年度 ・工事施工(L=260m) 平成29年度 本事業の完了は、平成29年度の予定である。 事業費は、委託料、工事費、事務費として支出される。																													

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)

前年度実績(前年度に行った主な活動)

測量調査設計(一式)

今年度計画(今年度に計画している主な活動)

用地測量詳細設計(一式)

工事施工(L=260m)

② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等

通路利用者、児童、園児

③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)

市道が拡幅改良される。

通路利用者に安全に利用してもらう。児童の安全が確保される。

④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)

安全で快適に移動および活動できる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称	単位
ア 施工延長	m
イ	
ウ	

⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称	単位
カ 計画総延長	m
キ 主たる利用者数(市民全員)	人
ク	

⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称	単位
サ 十分な幅員で舗装された供用開始道路延長	m
シ 整備率(計画区間整備済延長/計画総延長)	%
ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	年度					
			23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千 円				5,670	72,300
		都道府県支出金	千 円					
		地方債	千 円				3,480	45,700
		その他	千 円					
		一般財源	千 円				300	2,600
	事業費計 (A)		千 円	0	0	0	9,450	120,600
	人件費	正規職員従事人数	人				2	2
		延べ業務時間	時 間				400	400
		人件費計 (B)	千 円	0	0	0	1,600	1,600
	トータルコスト(A)+(B)		千 円	0	0	0	11,050	122,200
⑤ 活動指標		ア	m				0	130
		イ						
		ウ						
⑥ 対象指標		カ	m				260	260
		キ	人				480	480
		ク						
⑦ 成果指標		サ	m				0	260
		シ	%				0	100
		ス						

事務事業ID	1441	事務事業名	猪川保育園線道路改良事業
--------	------	-------	--------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ ・児童、園児の通学および通園が危険な状態であり乗用車同士のすれ違いも困難な状況であることがかねてより問題となっていた。よって、現道の拡幅、急勾配区間の解消、歩道の整備を目的とする。	
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ ・測量、概略設計が完了したので、地域への説明、協力を今年度実施したい。	
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 現状改善および児童の安全を要望されている。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価	
目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 改良(一部新設)整備により、安全・快適に利用できるので、都市環境の向上につながる。
	② 公共関与の妥当性 ☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 公共施設の道路整備は、行政が行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 ☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ この市道は、未改良であり、この事業により利用者が安全に利用できるようになるため、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 ☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 十分な幅員で舗装された道路計画延長となっていることから、これ以上の成果向上余地が認められない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 ☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 安全で快適に利用できない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 個別事業であり、他に手段はない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 ☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 必要最小限の費用で実施していることから、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 必要最小限で対応していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 ☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 一般に供する道路であることから、受益者負担になじまない。

事務事業ID	1441	事務事業名	猪川保育園線道路改良事業
--------	------	-------	--------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 平成28年度事業完了に向け、事業を推進する。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																							

4 事務事業の2次評価結果

(職 名) ※原則として施策の主管課長	(氏 名)
2次評価者	建設課長 菅原博幸

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																							
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由																					
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																							
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 平成28年度事業完了に向け、事業を推進する。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
